

☆校内授業研究会（体育科）

11月25日（木） 北総教育事務所香取分室の先生を講師にお招きし、体育科の校内研究会を行いました。今年度、本校では、体育科を研究教科とし、「自ら課題を見付け、意欲的に運動に取り組む児童の育成～『わかる』と『できる』をつなぐ学習過程の工夫を通して～」を研究主題とし、全職員で授業研究に取り組んでいます。今回は、3年生「ハンドボール」と6年生「マット運動」で研究授業を行いました。

3年生は、今回、初めてハンドボールを学習していますが、毎時間意欲的に取り組み、授業を重ねる度に、技能が向上しています。研究授業では、「チームでオリジナルの作戦を立てて、ゲームで生かそう」とクラス全員がとても意欲的に活動していました。

<3年生>「ハンドボール」

【授業の流れを確認しています。】



【空いているスペースに動こうと考えています。】



【作戦ボードを使って作戦を立てています。】



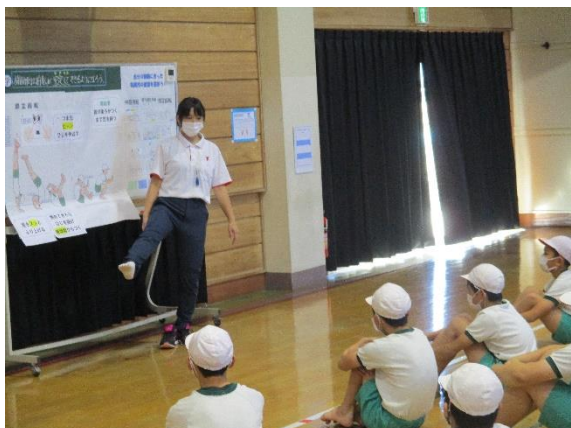
【作戦を生かしてメインゲームを行っています。】



6年生は、これまでの授業で、補助倒立の際、逆さになることに恐怖心をもつ児童が多くいましたが、研究授業では、これまでの学習の成果が表れ、互いに補助したり、アドバイスし合ったりしながら、「補助倒立前転」を中心とした学習にとっても意欲的に取り組んでいました。また、タブレットを活用して自分の演技を客観的に見ながらの練習は、技術向上に大いに役立っています。

<6年生>「マット運動」

【指先（つま先）の伸ばし方の確認をしています。】



【つま先までピンと伸びています！】



【タブレットで演技を撮影しています。】



【タブレットを活用し、友達同士で技の出来ばえを確認しています。】



講師の先生からは、「3年生、6年生ともに、学ぼうとする姿勢が素晴らしく、意欲的に活動していて、とても良い児童たちですね」とお褒めのお言葉をいただきました。

今後も「体育の授業が好きになる→運動が好きになる」児童を育成するために、研究を進めてまいります。